

第二部 さわやか交流会 第一ホテル両国 5階 清澄



あいさつする清水肇子理事長

企業・行政関係者をはじめ「新地域支援事業」を進めている各地各界の人びとを堀田会長から紹介



司会の上田恵子さん

厚労省からは
原元厚生労働
審議官・服部
課長補佐も



清水肇子理事長の歓迎と感謝のあいさつのあと、堀田力会長から「新地域支援事業」を推進するに当たってご尽力いただいている各界の方々として以下の諸氏が紹介された。

まずはこの事業がはじまったときの担当で元厚生労働審議官の原勝則氏、同省老健局課長補佐の服部真治氏、新潟県で居場所を展開してこの事業のアドバイザーをつとめておられる河田珪子さん、大阪からNPOナルク会長の高畑敬一氏、国際長寿センター上席調査役の大上真一氏、被災地大船渡市NPO法人共生まちづくりの会会長近藤均氏など。

さらに各地の自治体でこの事業を強力に進めているメンバーとして、秋田県長寿社会振興財団LL財団の主任工藤恵子さん、新潟県の（福祉保健部高齢福祉保健課在宅福祉係）本間俊之氏、新潟県社会福祉協議会の坂野健一郎氏、新潟市地域包括ケア推進本部担当部長仁多見浩氏、越前市長寿福祉課地域包括支援センター平沢登姿恵さん、第一部で事例紹介をされた武蔵野市の横山美江さん、横浜市西区役所福祉保健課





高木美岐さん、大和市高齢福祉課高橋隆行氏、静岡県健康福祉部加藤克寿氏、泉南市健康福祉部氏浦誠二氏。九州に渡って吉富町地域包括支援センター上西和美さん、長崎県福祉保健部早川成喜氏、同じく田島玲悟氏、事例紹介をされた竹田市の高木佳奈枝さん、そして奄美市の田丸友三郎氏と島名博美さん、宜野湾市健康推進部長比嘉直美さん、名瀬地域包括支援センター仲村祐史氏のみなさん。紹介を終わって会場のみんなで拍手。

交流会の会場で奄美市の田丸友三郎氏と話す機会をえた。第一部で出演した田丸氏を、堀田会長が名刺を見ながら紹介していたが、いただいた名刺には、「奄美市行政連絡員（有屋地区担当）奄美市名瀬自治会・町内会連合会会長、奄美市社会福祉協議会理事、教育委員」など表に九つ、裏に「有屋町内会会長、地区体育協会理事、小学校スクールガイド」など九つ。



堀田会長から「田丸さんの貢献、動きはすばらしい。まだ他にあるのでは。これだけやっておられてその上に第1層生活支援コーディネーターは大丈夫ですか」と問われて、田丸氏は「できたら他をしないようにと思っているのですが（笑）。生涯現役でできるところまでやりたいと思っています」と応じていた。



第二部の「交流会」では、「新地域支援」事業を推進する方々の紹介のあと、全国からの参加者を囲んで議論の輪ができ、話はつきないようでした。

会場の談論なおたけなわな中で終わりのあいさつに立つ元財団理事・渉外代表の和久井良一氏